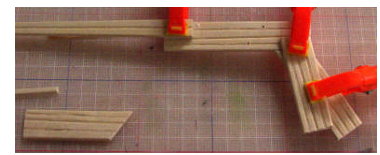
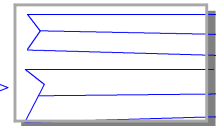


1, フレーム右に銃身と、グリップ内板を接着

- (1) 銃身の先にゴムかけ用に溝を掘り、ボンドを塗っておく。形は自由。
- (2) 赤い斜線で囲んだ部分がフレーム右で、銃身を接着する部分(約 2 cm)です。接着したあとはクリップで留める。フレームと直線にする。
- (3) 同じようにグリップ内板、グリップ外板(右)の順にクリップで留めておく。



2, ホールドフックを加工する。

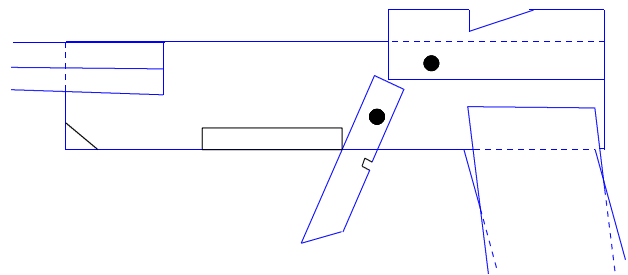
- (1) 治具のすき間にホールドフックを入れ、ナイフでゴムかけをけずる。

3, 竹のつまようじ(直径 2 mm)をフレーム右にさす。

- (1) つまようじはとがったところを切り取り、残りを半分か3分の1にしてフレーム右の穴にさす。

4, ホールドフックと引き金をつまようじに刺し、ゴムをかけて張力をかけたとき、引き金がゴムの発射を止める位置に来るように調節

- (1) 2つのパーツのどちらかを紙ヤスリでけずって、微調整する。けずるのは少しずつ。けずりすぎた場合は、別の新しいものと取り替えるしかない。この作業が一番微妙。
- (2) 引き金の後ろ側に、引き金の張力がかかるためのゴムをかけるための溝を掘る。



5, ストッパー(引き金が前に行きすぎるのを制限するためのパーツ)を接着

- (1) 引き金のちょうどいい位置に来たところで止まるようにする。使っている内に引き金は少しずつ前に行くので、少しきつめにしておく。
- (2) ストッパーをクリップで留めるが、1本では不安定なときは、2本のストッパーを接着。

6, フレーム左を接着。クリップで留める。

- (1) ボンドはつけすぎない、可動部分(引き金やホールドフック)にくっつかないように注意。



7, 引き金張力用のゴム(プラスチック製)を装着

- (1) ボンドが完全にかわいてからでないとせっかくのストッパーがずれてしまう。